

農林水産課からのお知らせ

フルーツラインの通行規制

フルーツラインの舗装改良工事などに伴い、次のとおり片側交互通行となります。

期 間 令和2年1月31日（金）まで

※ 区間を分割して終日規制

※ 天候の影響により期間が変動する可能性あり

区 間 国道305号との交差点（二面口交差点）～主要地方道福井金津線との交差点（山十楽交差点）

問合せ 〈農道全般について〉農林水産課 ☎ 73-8026
〈工事について〉坂井農林総合事務所 ☎ 84-8045



基幹林道劔ヶ岳線 全線開通

平成10年から県営事業として整備が進められてきた基幹林道の劔ヶ岳線が、10月30日の開通式をもって全線開通となります。本路線は、坂井市丸岡町山竹田から劔ヶ岳、刈安山の中腹を縦走し、あわら市牛ノ谷までを結ぶ全長22・3キロメートルの林道です。

また、工事のため全面通行止めだった基幹林道市野々刈安線は、10月30日をもって通行止めを解除します。

なお、平成29年10月の台風により劔ヶ岳線沿線（北二ノ谷）で山腹崩壊が発生した箇所の復旧治山工事が行われているため、劔ヶ岳線の一部で通行制限がかけられています。

問合せ

〈林道について〉
農林水産課
☎ 73-8026
〈治山工事について〉
坂井農林総合事務所
☎ 84-8045



撮影：福井県自然保護センター

この秋、クマの出没注意！

秋は、クマが冬眠前の餌を求めて活発に活動する季節です。今年は、県内のブナやミズナラが凶作となっています。このため、クマの出没が増加する恐れがありますので、次の点に十分ご注意ください。

「クマと遭わない」ために

- ブナやグルミ、クリ、ミズナラの林、ヤマブドウや柿の実がなっているところにはなるべく近付かない。
- 鈴や笛、ラジオなどを鳴らすか、大きな声で話しながら歩くなど、自分の存在を知らせる。
- 林際や川沿い、山林から近い集落では、早朝、夕方、夜間の散歩やジョギングを控える。
- 早朝や夕方のほか、霧などで視界の悪いときや、日中でも見通しの悪い林には行かない。
- 家の周りにクマがいる場合があるので、家から外に出るときは、笛やラジオを鳴らす、大声を出すなどでクマを追いついてから戸外に出るようにする。

「クマを引き寄せない」ために

- 人家の周りに生ゴミなどを捨てたり、置いたりしない。墓の供え物は持ち帰る。
- 庭先の収穫しないクリや柿などは、放置しないで早めに取り除く。
- 山際の集落では、車庫や小屋の戸を閉め、鍵をかける。
※ 人の気配を察知すると、容易に逃げ込める建物に隠れることがある。
※ ガソリンなどの強い臭いや漬物に誘引されることがある。

クマに遭ってしまったら「興奮しない・させない」

- 騒がず、走らず、クマに背を向けずゆっくり後退する。子グマであっても絶対に近付かない。
※ 子グマの近くには、親グマがいる場合がある。

クマを目撃した場合の連絡先および出没情報

- ・あわら市農林水産課 鳥獣害対策室
☎ 73-8033（直通）
- ・あわら警察署 ☎ 73-0110（代表）
- ・ホームページ「福井クマ情報」
(<https://tsukinowaguma.pref.fukui.lg.jp/KUMA/Top.aspx>)

全国学力・学習状況調査（4月実施）結果の概要

今年4月に小学校6年生と中学校3年生を対象に実施した全国学力・学習状況調査の結果が、7月31日に文部科学省から公表されました。この調査は、子どもたちの学力の定着状況、学習に対する意欲・学習環境の状況などについて把握するものです。調査結果は、子どもたちの学力や学習状況の一部分を表すにすぎませんが、知・徳・体の総合的な学力の定着を目指す本市の教育活動を評価するための資料にしたいと考えています。

なお、各教科の成果や課題、質問紙調査の結果については、市のホームページをご覧ください。

問合せ 教育総務課 ☎ 73-8039

調査事項および内容

1. 教科に関する調査
・小学校：国語、算数 ・中学校：国語、数学、英語
2. 質問紙調査
・生活習慣や学習環境に関する質問（小・中学校）
3. 今年度の調査の特徴
・知識と活用を一体的に問う調査問題
・中学校で英語に関する調査を初めて導入

教科に関する調査の結果から

小6	国との比較	県との比較	中3	国との比較	県との比較
国語	○	○	国語	○	▽
算数	○	○	数学	○	▼
			英語	○	○

全国・県平均正答率との比較

5ポイント以上高い→○／0～5ポイント高い→○
3ポイント以上低い→▼／0～3ポイント低い→▽

それぞれの学校において、各学校の傾向や子ども一人一人の状況を詳細に分析しています（分析した結果は、各学校からのお便りなどでお知らせします）。さらに、課題の克服や魅力ある授業づくりに取り組んでいます。

児童生徒質問紙調査の結果から

《良かった点》

将来の夢や希望を持っていたり、地域の行事に参加したりしている児童生徒の割合が高いようです。また、自分には良いところがあると感じていたり、難しいことでも失敗を恐れないで挑戦しようとしていたりする児童生徒の割合も高いです。

《課題とする点》

児童については、読書をする子が少なく、学校の授業以外での勉強時間が少ない傾向が見られます。

生徒については、毎日同じくらいの時刻に寝ている割合が低くなっています。

《家庭でご協力いただきたいこと》

家族で読書をしたり、新聞を読んで話をしたりするなど、活字に触れる機会をできるだけ増やしてください。さらには、家庭でも、計画的に勉強する時間を持つようお子さんと話し合ってください。

中学生の子どもがいる家庭では、同じ時刻で寝るなど規則正しい生活習慣を身に付けさせてください。寝る時刻が決まっていない原因として、インターネットなどをする時間が長くなり、不規則な生活になっていることが考えられます。しっかりと睡眠をとることは、授業への集中力が強くなります。今一度、子どもと話し合ってください。

郷土歴史資料館 だより

縄文時代のアクセサリ

現在開催中の秋季企画展「桑野遺跡と北陸の縄文装身具」で展示している縄文時代のアクセサリを一部紹介します。

① 玦状耳飾

玦に形が似ていることから、名前が付いた耳飾りです。玦とは、C字の形をした古代中国の装飾用の玉で、男性が腰に下げていました。



▲①玦状耳飾

② 垂飾

穴に紐などを通して身に付けていたと考えられるアクセサリのことです。



▲②簞状垂飾

③ 管玉

管状になっている装身具の部品で、ビーズのように管に糸を通して腕飾りや首飾りなどに用いられていました。



▲③管玉

縄文時代のアクセサリは、石製のものが多く見受けられます。機械がない中、時間をかけて削り、丁寧に磨いたアクセサリは、縄文人にとって宝物だったことでしょう。

秋季企画展関連イベント

「縄文垂飾を作ろう！」参加者募集

市の宝物である国指定重要文化財桑野遺跡出土品をモチーフにして、縄文時代のアクセサリ「垂飾」を作ります。

縄文人のように石を磨いてから、ビーズなどで現代風に飾り付けをして、ネックレスに仕上げます。

と き 11月10日（日）13時30分～

と ころ 金津本陣 IKOSSA 3階 大ホール

参加費 200円

定 員 先着30人（要申し込み）

※ 小学校4年生以下は保護者同伴



▲縄文垂飾（イメージ）

郷土歴史資料館（金津本陣 IKOSSA 2階）

休館日 月曜日・第四木曜日（祝日の場合はその翌日）

開館時間 9時30分～18時（最終入館17時30分）

問合せ ☎ 73-5158 FAX 73-1038 ✉ maibun@city.awara.lg.jp